

南座看板制作プロジェクト(前期)

南座は歌舞伎発祥とされる四条河原町にある400年の伝統を持つ京都でも由緒ある劇場です。近年、耐震補強工事が完了し、伝統を保ちながら新しいイベントもできる劇場として新開場しました。このプロジェクトもその新開場に合わせた2018年度後期より始まりました。2023年度は前期「錦秋喜劇特別公演」後期「松竹新喜劇」の一字看板(南座正面のメイン看板)を受注・制作し大変好評でした。

横幅10メートルを超える一字看板の制作はとてもダイナミックで注目度抜群です。制作過程においては、京都市景観条例の研究やテーマの掘り下げをもとにデザインを提案しますので、地域性や創造性など新たな学習ができます。学科を横断したチームの協力により取り組むことのできるプロジェクトです。



4月2日17時までに応募フォームからエントリー
その後、4月3日～5日に各自で 履修登録

- 単位認定 芸術教養科目 ※シラバスに記載
- 定員 35名程度
- 履修対象 全学科・全学年
- 授業日 火曜日3,4限
- 担当教員 丸井栄二(芸術教養センター) 、藤部恭代(非常勤講師)
- プロジェクトの特徴(経験できること、身に付く力)
 - 色々な学生と協同で制作をすることで、コミュニケーション能力が身に付きます。
 - 京都市景観条例に対する知識・経験をしっかりと身に付け、デザインスキルも身に付けることができます。
 - 多くの人に自分が制作したものを見てもらうことで社会に対して作品を発表する醍醐味を味わえます。
- スケジュール(概要) * 予定は変更になることがあります。

日時	内容
4月	履修登録締切り
4月	抽選発表 ※応募者多数の場合
4月16日	キックオフミーティング
5月中旬～下旬	京都市景観条例レクチャー等
6月上旬	デザイン案まとめ第一案(プレゼンテーション)
6月上旬～中旬	デザイン案ブラッシュアップ期間
6月中旬～下旬	デザイン案まとめ最終(プレゼンテーション) → 制作
7月上旬	南座へ納品,設置

□ 履修にあたっての注意事項

必ずシラバスを読み、内容、スケジュール、その他注意事項をよく確認してください。

□ 南座看板制作プロジェクトを履修する為の科目名

2年生以上は前期期間にプロジェクト探究IC(3講時)とプロジェクト探究IIIC(4講時)をセット履修すること。

1年生は、社会実装プロジェクト1C(前期)、社会実装プロジェクト2C(前期)をセット履修すること。

【応募フォーム】

https://docs.google.com/forms/d/19SR54CgwCTjXCufPqMSaycmr-NumeEtVdVY1_1vcYJU/edit



問合せ先(応募先ではありません): 芸術教養センター(プロジェクト担当)project@office.kyoto-art.ac.jp